

こどもの居場所の  
未来を語ろう

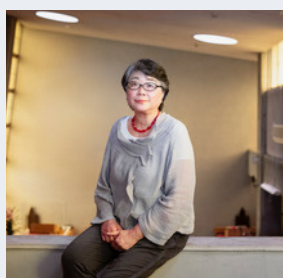
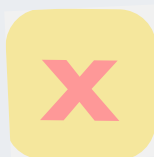
# ～こども食堂から考える～

こども食堂や無料塾の利用増で、ボランティアを超えた専門的な支援の必要性が高まっています。地域に居場所があることで救われる子どもがいる一方、運営には様々な課題も。2025年春、「こども食堂」の名づけ親である近藤博子さんは、「『こども食堂』の大きな流れからは一線を引く」とSNSに投稿しました。私たちはどのような未来を実現したいのか本質に迫ります。

近藤さん取材し記事にしたライター杉山春さんとの対談の実現！

2/7  
(土)

10:00～12:00



## 近藤 博子さん

### 一般社団法人としびatだんだん

島根県生まれ。歯科衛生士として仕事を続ける。2008年気まぐれ八百屋だんだんをスタート。だんだん寺子屋なども開催。2012年こども食堂スタート  
2015年こども笑顔ミーティング実行委員会代表として活動始める  
2022年6人の異なる活動をするメンバーとファーストリーチプロジェクトを立ち上げ、だれもが助け合うことのできる地域づくりをめざした活動開始。  
大田区母子保健推進協議会委員  
支援の輪プロジェクト委員  
学校地域連絡協議会委員

## 杉山 春さん

### ライター・一般社団法人てとと

東京都生まれ。児童虐待、家族問題、ひきこもり、自死などについて取材・執筆。  
著書に『ネグレクト 真奈ちゃんはなぜ死んだか』（小学館文庫 小学館ノンフィクション大賞受賞）『移民環流』（新潮社）『ルポ虐待：大阪二児置き去り死事件』（ちくま新書）、『家族幻想 ひきこもりから問う』（ちくま新書）『児童虐待から考える 社会は家族に何を強いてきたか』（朝日新聞出版）など。  
2018年から神奈川県相模原市内の公設団地の集会所で、仲間と一緒に子どもの居場所の運営を行なっている。

飯田橋セントラルプラザ12階

定員 30人  
オンライン 20人

## ■ 日時・会場・参加費

- 分科会名：「こどもの居場所」の未来を語ろう！～こども食堂から考える～
- 日 時：2026年2月7日(土) 10:00～12:00
- 参加方法：飯田橋セントラルプラザ12階・会議室CD
- 定 員：会場30名 オンライン20名



## ■ 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2026 について

「分科会2:「こどもの居場所」の未来を語ろう！～こども食堂から考える～」はく市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2026の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。今年のテーマは「これからを変える、挑戦を。～Action&Imagination～」です。みなさまのご参加をお待ちしています。

■開催期間 2026年2月7日(土)～8日(日)

■会 場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか

■参 加 費 1分科会1,000円

会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)

\* 学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料

■企 画 ボランティアフォーラム TOKYO2026 実行委員会

■主 催 東京ボランティア・市民活動センター

■アクセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手  
地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・  
大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



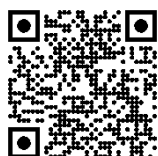
## ■ 参加申し込み方法

- 「分科会2:「こどもの居場所」の未来を語ろう！～こども食堂から考える～」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込むことができます)
- 参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。
- ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。

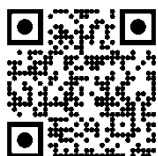


.....  
[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 山添・高橋・杉山・吉田  
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階  
TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

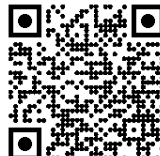
Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube

